

「教科書と共に使えるリライト教材」の作成と活用

元 岡山大学教育学部

光 元 聰 江

I) リライト教材について (参2—参6)

考案・命名者

リライト教材: 光元聰江 (元 岡山大学)

音読譜: 岡本淑明 (元 吉備国際大学)

II) 「教科書と共に使えるリライト教材」(「教科書リライト」と略称) について

(1) 「教科書リライト」とは

- ① 通常の学級で使用する教科書教材を子どもの日本語力に配慮して「表現はやさしく、内容は学年相当レベルで」書き換えている。
- ② 原作(教科書教材等)の味わいや面白さを失ってしまわないよう配慮している。
- ③ 日本語学級・特別支援学級等と通常の学級とで活用するリライト教材は、それぞれ難易レベルが異なっても、両者で一貫した指導目標があり、それを達成するための段階的な学習課題が用意されている。

(2) 「教科書リライト」の作成と授業(関係図) (参7)

(3) 「教科書リライト」の多様な場面での活用の可能性

- ① 「特別の教育課程」において
- ② 特別支援学級/学校で
- ③ 通常の学級で
- ④ 地域の外国人児童生徒の学習支援において(ボランティア活動)
- ⑤ 親子学習(ボランティア活動)において 等々

(4) インクルーシブな授業への志向 (図参照) (参7)

Ⅲ) 「授業構想メモ表」の作成→「教科書リライト」の作成について

(1) 「藤森Bマップ法」とは (参8)

(2) 「授業構想メモ表」(=「教科書リライト作成メモ表」)について

「教科書リライト作成メモ表」の書き方(藤森Bマップ法を活用して)

(参9)(参10)

Ⅳ) 「教科書リライト」の授業での活用 (参11)(参12)

Ⅴ) ワークショップ 「教科書リライト」を作成してみよう!

*日本語の力「DLAステージ3(読む)」対応の「あらすじリライト教材」を作成

(ステージ3) 文節や意味のまとまりで区切って読むことができる。学年より下の学習漢字が混じった短文を読んで、大意を理解する。

*日本語の力「DLAステージ5(読む)」対応の「注釈リライト教材」を作成

(ステージ5) 手紙文・観察文・報告文・説明文など、いろいろな種類の文章を読み、大意を理解する。教科用語の入った文章を読んで、大意を理解する。

(1) 『お手紙』(2年・物語・アーノルド=ローベル・みき たく訳)(注釈)

(2) 『お手紙』(あらすじ)

(3) 『白いぼうし』(4年・物語・あまん きみこ)(注釈)

(4) 『白いぼうし』(あらすじ)

(5) 『ヤドカリとイソギンチャク』(4年・説明文・武田^{まさつね}正倫)(注釈)

(6) 『ヤドカリとイソギンチャク』(あらすじ)

(7) 『字のない葉書』(中2・随筆・向田邦子)(注釈)

(8) 『字のない葉書』(あらすじ)

(参考図書)

『すぐれた論理は美しい—Bマップ法でひらくことばの学び』 藤森裕治著(2013年・東洋館出版)

『外国人・特別支援 児童生徒を教えるためのリライト教材—国語教科書対応—通常の学級でも役立つ』(改訂2版)

編著者 光元聰江, 岡本淑明(2016年・ふくろう出版)

(参考文献)

「取り出し授業と在籍学級の授業とを結ぶ『教科書と共に使えるリライト教材』」

『日本語教育 158号』 (日本語教育学会 2014. 8 光元聰江)